

整理番号 2019P-189  
補助事業名 2019年度 ひきこもり・不登校に対する支援活動 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人青少年健康センター

## 1 補助事業の概要

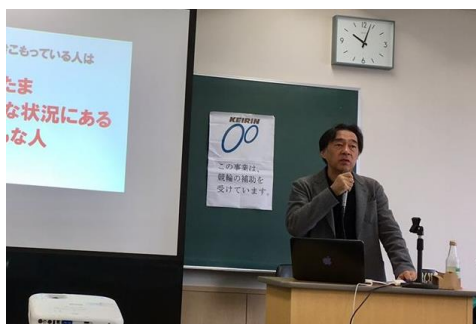
### (1) 事業の目的

「ひきこもり等生きづらさを抱えた方々やそのご家族が、いきいきと社会参加、生活できると社会」を目指すため電話相談・相談/居場所支援・普及啓発活動等を実施しています。

### (2) 実施内容

#### ① <対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催> (<https://h-seminar.skc-net.or.jp>)

フィンランドのケロプダス病院にて1980年代から開発と実践が続けられてきた治療技法「オープンダイアログ」を用いた講座を開催しています。精神科医の斎藤環氏をはじめ、2~3名の運営補助がグループワークのファシリテーターの役割を担い、「理論編」としての座学ならびに参加型の「ワーク」を行います。対話を中心としたグループワークを通じ、参加者の家族関係を見つめ直す機会となるよう実施しています。



「理論編」での講座の様子①



「理論編」での講座の様子②

#### ② <親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会> (<https://l.seminar.skc-net.or.jp>)

“8050問題”等、近年ひきこもり家庭での親の高齢化の課題も可視化されるようになってきました。ひきこもりが長期化し、中高年に達した当事者、特にその家族を主な対象として、ファイナンシャルプランナーによる生活・経済面にフォーカスした講座および個別相談会を開催しました。知識を学ぶ講座だけでなく、受講者を優先とした個別相談会も設けることで、各家庭の状況に沿ったより実践的なアドバイスが可能となります。



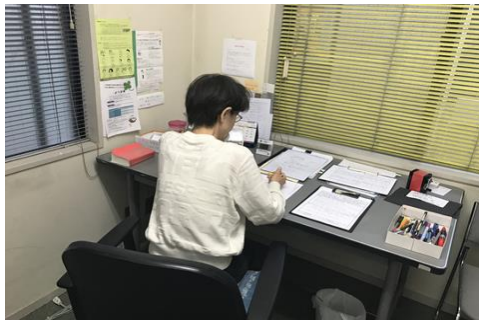
ライフプラン講座の様子



個別相談会の様子

③ <青少年自殺予防事業> (<https://skc-net.or.jp/kizuna>)

経験豊かな専門スタッフが月曜日から金曜日までの間、常駐し、無料の電話相談を行っています。毎月原則第2、4土曜日は、精神科医による電話および面接相談ができる体制をとり、日常的な相談電話等で必要性を感じた場合、精神科医の相談へと促しています。



専門スタッフによる電話相談の様子

2 予想される事業実施効果

① <対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催>

本事業を通じ、受講者の家庭内のコミュニケーションが改善されることで、希薄であったり歪であった家庭内のつながりの回復が期待されます。その後は社会とのつながりを取り戻す段階への進展が期待され、支援機関や就労につながったりといった、それまでの状態からの改善が見込まれます。オープンダイアログの手法を身につけたひきこもり家族の増加が、ひきこもり問題解決に寄与することを期待しています。

② <親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会>

本事業では、受けられる社会保障や生活維持に必要な具体的な金額がファイナンシャルプランナーによって示されることで、生きていくためにどうするべきかとい

う現実的な課題に向き合う機会を提供できると考えております。また個別相談会において、各家庭に合った実践的かつ具体的アドバイスの結果、ひきこもり当事者に安心と安全が確保されることは、就労や自立への大きな動機付けへとつながると考えます。

③ 〈青少年自殺予防事業〉

若者を対象とした自殺予防の電話相談は少なく、本事業には高いニーズがあります。また無料かつ非対面式・匿名性という方式は相談への物理的・心的なハードルを下げ、さらに希望者には精神科医とも電話相談ができるという点は、医療的介入をうける動機となり、そのきっかけづくりに有効であると考えています。若者世代に限らず広く相談を受け付けることで、我が国の自殺予防対策に本事業も寄与して参ります。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ひきこもりダイアログ講座 受講案内 2,590部

親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会 申込みチラシ 2,000部

**『ひきこもりダイアログ講座』**  
公益社団法人 青少年健康センター

2019.12  
参加費 \*午前・午後それぞれ 1回 3,000円/1名  
\*午前・午後通して参加される場合 1日 5,000円/1名  
\*下記にお申し込み下さい。  
\*当センターの維持会員、SW会員は半額になります。

2019.11  
参加費 \*午前・午後それぞれ 1回 3,000円/1名  
\*午前・午後通して参加される場合 1日 5,000円/1名  
\*下記にお申し込み下さい。  
\*当センターの維持会員、SW会員は半額になります。

2019.4  
参加費 \*午前・午後それぞれ 1回 3,000円/1名  
\*午前・午後通して参加される場合 1日 5,000円/1名  
\*下記にお申し込み下さい。  
\*当センターの維持会員、SW会員は半額になります。

〒112-0006 文京区小石川4-5-8 三軒町ビル102  
公益社団法人 青少年健康センター  
TEL: 03-3947-7636 FAX: 03-3947-0766


**キリトリ (申込書)**

実践的「ひきこもりダイアログ講座」に参加を希望される方は、参加されたい講座に●で塗りつぶしてください。

| 講座    | 日        | 時                              | 所要時間                       | 場 | 所                   |
|-------|----------|--------------------------------|----------------------------|---|---------------------|
| 第242回 | 4月20日(土) | 午前: 理論編+Q&A<br>午後: 対話ワーク       | 10:00~12:00<br>13:00~15:00 |   | 駒野学園女子大学 (茗荷台) (予定) |
| 第243回 | 5月19日(日) | 午前: 理論編+Q&A<br>午後: 対話ワーク       | 10:00~12:00<br>13:00~15:00 |   | 筑波大学 (茗荷台120講義室)    |
| 第244回 | 6月15日(土) | 午前: 理論編 (文京区委託事業)<br>午後: 対話ワーク | 10:00~12:00<br>13:00~15:00 |   | 文京区民センター (予定)       |
| 第245回 | 7月20日(土) | 午前: 理論編+Q&A<br>午後: シンポジウム (予定) | 10:00~12:00<br>13:00~17:00 |   | 駒野学園女子大学 (茗荷台) (予定) |

参加者ご氏名: 1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_  
ご住所・電話番号: \_\_\_\_\_  
ご参加の動機: \_\_\_\_\_

公益財団法人青少年健康センター



島中 雅子先生  
（ファイナンシャル・プランナー）

# ひきこもり家族の ライフプラン

KEIRIN 00  
（公益財団法人JKA補助事業）

## 講演会と個別相談会

ひきこもりのお子さんをはじめ、働けないお子さんを抱えるご家庭から、生活設計のご相談を受け始めて27年が過ぎようとしています。ご相談を続ける中で、環境が深刻化しているのは、お子さん自身の高齢化です。ご相談者の中には、お子さんが60代に入った方もおり、同時に親御さんが亡くなる可能性も出てきています。「親亡き後」の生活設計を立てる重要性は高まるばかりです。そこで講演会では、働けないお子さんに対して、親がしてあげられること、親自身のためにすべきこと、お子さんのご兄弟に対してしておきたいことなど、サバイバルプランに必要な知識をお話しします。

**講演会** 島中 雅子 先生

日時 2019年7月27日（土）14:00～16:00  
会場 中央大学駿河台記念館（JR 御茶ノ水駅）670 教室  
定員 80名  
参加費 当センター会員は無料 会員以外は2,000円

働けない子どものお金を考える会 | ひきこもり、働かない子どもが生活していくための資金計画  
**働けない子どものお金を考える会**  
ひきこもり、ニート、あるいは働かないお子様を抱えるご家庭の家計を考える、ファイナンシャル・プランナーの集まりです。

**個別相談会** ※講演会参加者が優先となります。

日時 2019年8月23日（金）・9月21日（土）  
10月8日（火）・11月9日（土）  
12月5日（木）・2020年1月25日（土）  
※2019年8月～2020年1月まで月に1度開催を予定しています。

講師 島中 雅子 先生（ファイナンシャルプランナー）

定員 1日各4名  
会場 青少年健康センター 三軒町ビル（茗荷谷駅）  
参加費 当センター会員1,000円、会員以外3,000円

青少年の健全育成事業として、今回「ひきこもり家族のライフプラン」の講座と個別相談会に助成金を頂きましたので、ひきこもりが長期化し高齢化して、親世代の亡き後働けない子供をどう成り立たせるのかを、専門家と一緒に実践的な方法を考えていきたいと思っております。皆さんどうぞご参加下さい。

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

当法人機関紙「ニュースレター」No. 57（現在作成中・2020年夏期1000部発行予定）

① <対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催>

Facebookにて開催報告

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2480028825363944/?sfnsn=mo>

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2538850086148484/?sfnsn=mo>

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2603350449698447/?sfnsn=mo>

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2778972958802861/?sfnsn=mo>

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2923784100988412/?sfnsn=mo>

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2990837844283037/?sfnsn=mo>

② <親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会>

Facebookにて開催報告



<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/2610488332317992/?sfnsn=mo>

<https://www.facebook.com/1135211166512390/posts/3021733081193513/>

③ <青少年自殺予防事業>

特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人青少年健康センター

(コウエキシャダンホウジンセイショウネンケンコウセンター)

住 所： 〒112-0006

東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル

代 表 者： 代表理事 齋藤友紀雄 (ダイヒョウリジ サイトウユキオ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長補佐 鈴木隆之 (ジムキョクチョウホサ スズキタカユキ)

電話番号： 03-3947-7636

F A X： 03-3947-0766

E-mail： [info@skc-net.or.jp](mailto:info@skc-net.or.jp)

U R L： <https://skc-net.or.jp/>